

平成 21 年度 ほらどまちづくり委員会 事業計画 (案)

概 要

洞戸地域において様々な団体が地域づくりに奮闘しているところであるが、人口減少社会のなかで多様な住民ニーズに永続的に応えて行くには、思いを一つにするそれらの団体が連携あるいは補完しあうことが、それぞれの団体の使命を成し遂げるうえにおいて効率的で効果的であると思われる。

平成 20 年度は、こうした認識を共にする地域内の多くの団体の賛同を得て本委員会を立ち上げるに至ったが、平成 21 年度は、この理念を具現化すべく以下の事業をその柱と位置づけ、地域の住民が一丸となった“まちづくり”に向け、その活動の基盤づくりと、各種の実証的な事業の実施を図って行く。

一、 委員会活動を通じた、まちづくり体制の確立 と 事業の実施

一、 洞戸生涯学習センターの適正な管理 と その効果的な活用

一、 地域内バスの実証運行 と これと連携した住民活動の活性化

- ◇ 部会は定期的開催し、まちづくり事業の考案し計画を行います。
(部会の会場として洞戸生涯学習センターを活用します)
- ◇ 部会において計画された事業は、その内容に応じて 役員会もしくは全体会での承認を得たうえで関係機関と調整の後、実施となります。
- ◇ 部会参加への勧誘は積極的に行い、意欲ある個人の参加も歓迎とします。
(部会開催の案内等は事務局にて代行致します。各部会で参加者名および、その連絡先を把握し事務局への報告をお願いします)

平成21年度 ほらどまちづくり委員会 専門部会の構成と事業指針

- ① 企画部会（委員会役員ほか）
 - ・まちづくりの推進、調査研究、企画、立案
- ② 総務部会（委員会職員）
 - ・委員会の事務、労務、会計
 - ・洞戸生涯学習センター施設管理（貸し館業務、図書館業務を含む）
 - ・各部会の業務遂行を促す
 - ・関連団体の事務代行
 - 費用は利用団体からの拠出を原則とする
 - 敬老会などの人的派遣の場合は、利用団体が人件費相当額を拠出
 - ・住民、各種団体の相談窓口
- ③ 事業部会
 - ・交流事業の計画実施（自治会、老人クラブ、KSC、体指ほか）
 - ・学習事業の計画実施（文化協会ほか）
 - ・福祉事業の計画実施（社協、シルバー人材ほか）
 - ・教育事業の計画実施（青少年育成、PTA）
 - ・防災事業の計画実施（消防方面隊ほか）
- ④ ICT活用(ネットサロン)部会（委員会職員ほか）
 - ・情報技術の利活用推進（委員会事業への活用ほか）
 - ・IT教育（各種講座の開設）
 - ・デジタル社会のセーフティーネット（リスク教育、相談窓口）
- ⑤ 広報部会（現広報ほらど編集委員ほか）
 - ・委員会の理念を元に、外部に対して広くアピールし啓蒙を図る
 - ・広報誌、ホームページ、TV 自主放送施設等の活用による発信
- ⑥ 経営部会（地域審議会、商工会、特販協会ほか）
 - ・持続的なまちづくりへの財源確保（コミュニティビジネス等の考案）
 - ・特産品の開発（地域内飲食店の連携等の共同事業）
 - ・観光推進事業（観光協会板取川支部、特販協会との連携）
- ⑦ 洞戸地域バス運営協議会
 - ・地域内交通システムの運営、改善と利用促進
 - ・内部に置く広報部会は、まちづくり委員会の広報部会と兼ねる